

## 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

# 横浜市がコートジボワール共和国の ホストタウンとして登録されました！

横浜市は現在、英国、イスラエル国、チュニジア共和国、ベナン共和国、ボツワナ共和国のホストタウンに登録されています（国名は登録順・50音順）。

このたび、コートジボワール共和国とのホストタウン登録が**本日10月31日に正式に認められました。**

コートジボワール共和国アビジャン自治区とは、平成29年9月に「交流協力共同声明」を発表し、都市課題の解決や若い世代の交流、女性の活躍推進といった分野で交流を深めています。

### 【コートジボワールとのホストタウンとしての交流計画の概要】

#### （1）オリンピック選手等との交流

大使館と連携し、学校訪問等による市民との交流を実施

#### （2）関係者との交流

大使館と連携し、国際イベントにおけるブース出展等を通じて文化を紹介

#### （3）オリンピック・パラリンピアンとの交流

ア 小学校等へのオリンピック・パラリンピアンへの派遣

イ パラリンピック競技普及に向けたパラリンピック競技体験会の開催

（参考）コートジボワールとの最近の交流実績

○横浜市副市長がコートジボワール共和国アビジャン自治区を訪問し、知事との面会、ビジネスセミナーの共催、現地小学校の児童やビジネスウーマンとの交流を実施（平成30年4月）

○「よこはま国際フェスタ2018」でコートジボワール大使館がブース出展（平成30年10月）

### 【林 文子 横浜市長コメント】

横浜市は、2008年、2013年のアフリカ開発会議の横浜開催を契機に、「アフリカに一番近い都市」として、アフリカとの連携・協力を進めてまいりました。都市課題の解決や若い世代の交流等の分野で積み重ねてきたコートジボワール共和国アビジャン自治区との交流が、ホストタウンという形で実ることになり、大変嬉しく思います。オール横浜でおもてなしするとともに、選手や関係者の皆様との交流を進め、絆を一層深めてまいります。

横浜市がホストタウンとしてお迎えするアフリカの国は、コートジボワールが4カ国目となります。来年8月の第7回アフリカ開発会議横浜開催に向けて、今後もより一層アフリカ諸国との交流を進めてまいります。

### お問合せ先

（コートジボワールとの交流に関すること）

国際局国際連携課アフリカ開発会議担当課長 後藤 勝 TEL:045-671-4714

（ホストタウンの申請、登録に関すること）

市民局オリンピック・パラリンピック推進課担当課長 田中 礼子 TEL:045-671-4585